

2022年4月現在 修士学生、博士後期課程1年生対象

J E E S ・ 出 光（潤滑技術）奨学金の募集について

【応募資格】

2022年4月現在、修士課程1年次もしくは2年次、もしくは大学院博士後期課程の1年次に在籍する日本人学生で、トライボロジーに関わる機械、電気、電子、化学、材料、ものづくりなどの工学分野を専攻する者

【推薦人数】

1名（全国で2名）

【奨学金給付月額】

80,000円（最短修業年限まで）

【提出書類】

- (1) 願書（様式1）※写真貼付
- (2) 推薦理由書（様式3）※指導教員に作成を依頼すること。
- (3) 成績証明書
- (4) 家族状況調書
- (5) 親権者の所得に関する証明書（源泉徴収票、確定申告書等の写し）
- ~~(6) 推薦書（様式2については学校側で作成するため提出不要）~~
- (7) その他の書類（該当する場合のみ提出）
 - c. 年金・恩給等受給者は年金の源泉徴収票または支払通知書の写（1年分）
 - d. 児童扶養手当受給者は児童扶養手当証書の写し
 - e. 雇用保険受給者は雇用保険受給資格者証の写し（受給期間及び受給額の記載があるもの）
 - f. 生活保護受給者は市区町村発行の生活保護受給者証明書
 - g. 身体障害者手帳があればその写し

【提出期限】

令和4年5月16日（月）

【提出場所】

工学系事務部教務課学生支援担当（③番窓口）

※奨学金の受給決定者は、アンケート等への回答、及び交流会・インターンシップ等に参加することが求められます。

令和4年5月10日 工学系事務部教務課学生支援担当

令和4年度 JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金 募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、出光興産株式会社(代表取締役社長 木藤俊一氏)のご支援により、「JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金」(以下「本奨学金」という。)の奨学生を下記により募集する。

記

1 目的

本奨学金は、工学分野を学ぶ学生の経済的不安を緩和し、学業に専念できる環境を整えることで、将来、潤滑油事業で活躍が期待される有望な人材の育成を目的とする。

2 奨学金の寄付者及び寄付の趣旨

本奨学金の寄付者である出光興産株式会社(以下「寄付者」という。)は、創業以来、燃料油や石油化学製品を中心とする事業や、潤滑油、電子材料、機能化学品、アグリバイオ等の高機能材事業で日本の産業を支えてこられた。本奨学金により、「ものづくり」を担い日本の競争力の源でありながら、今後ますます人材不足が懸念されるトライボロジー分野を牽引していく研究職・エンジニアの育成を願い資金を提供された。

3 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) 令和4年4月に、本協会が指定する日本国内の大学(以下「大学」という。)の修士課程(博士前期課程及び一貫制博士課程も含む。)1年次もしくは2年次、又は博士課程(博士後期課程及び一貫制博士課程も含む。)1年次(一貫制博士課程の場合は3年次)に正規生として在籍する日本国籍を有する者又は日本への永住を許可されている者。
- (2) トライボロジーに関わる機械、電気、電子、化学、材料、ものづくりなどの工学分野を専攻する者。
- (3) 本奨学金の支給期間中、他の奨学金を受けない者。[貸与型(返済が必要なもの)奨学金、学費免除、国の高等教育修学支援新制度 は除く]
- (4) 修学目的が明確で、支援の効果が期待できる者。
- (5) 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。
- (6) 令和4年4月に在籍予定の大学の長の推薦を受けることができる者。

4 採用人数

2名程度

5 支給内容

月額奨学金 80,000円

6 支給期間

令和4年4月から在籍課程の修了まで。

※一貫制博士課程の場合は、1～2年を修士課程、3～5年を博士課程とみなす。

7 応募・推薦方法

- (1) 本奨学金を受けようとする者は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。
- (2) 大学の長は、3に挙げる応募資格に該当する者について、8に挙げる応募・推薦書類を理事長に提出するものとする。なお、推薦人数等については、別途依頼文で示す。

8 応募・推薦書類

	提出物	提出方法	ファイル形式	備考
(1)	願書(様式 1)	メール	Excel	日本語で書かれたものに限る
(2)	推薦書(様式 2)	郵送	—	文書番号の記載があれば、公印省略可
(3)	推薦理由書(様式 3)	メール	Excel	推薦理由は、指導教官等が記入すること
(4)	学業成績証明書	メール	PDF	応募時に入手可能な直近のもの。日本語以外で記載されたものは和訳を添付すること。提出ができない場合は、大学が作成した理由書(様式任意)を添付すること。

※メールの送付先は、応募書類受付専用アドレス:ix-app@jees.or.jpとする。

9 応募・推薦書類の提出期限

メール、郵送ともに令和 4 年 6 月 3 日(金)本協会必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備のある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10 選考方法及び結果の通知

理事長は、7 の(2)により推薦された者について書類選考を行い、書類選考通過者に対して面接(7 月中旬予定)を実施し、奨学生を決定する。結果は、令和 4 年 8 月中を目途に大学を通じて通知する。なお、採否に関する照会には応じない。

11 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

12 奨学生の義務

- (1) 奨学生は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、毎年度末及び奨学金受給終了後 1 か月以内に、所定の様式により、大学を通じて本協会に報告すること。
- (2) 奨学生は、学籍に変更があった場合、所定の様式により大学を通じて本協会に遅滞なく届け出ること。
- (3) 奨学生は、住所・連絡先に変更があった場合、所定の様式により、大学を通じて本協会へ遅滞なく届け出ること。
- (4) 本奨学金を受給した者は、自身の進路について、在籍課程修了時に、所定の様式により、大学を通じて本協会に報告すること。
- (5) 奨学生は本協会又は寄付者の要請に応じ、アンケート等への回答、及び交流会・インターンシップ等に参加すること。

13 本奨学金給付の休止又は終了及び決定取消

- (1) 奨学生が大学を長期欠席(1か月以上)した場合は、本奨学金の支給を休止する。なお、休止事由が止んで、所定の様式により奨学金支給の再開を願い出たときは、6に記載した奨学金の支給期間内において奨学金の支給を再開することがある。但し、6の支給期間は延長しない。
- (2) 奨学生が、次の①から④のいずれかに該当した場合には、本奨学金の支給を終了する。
 - ① 大学を卒業、退学、除籍、停学、休学または留年(相当すると認められる場合も含む)した場合。
 - ② 本奨学金奨学生の義務を怠った場合。
 - ③ 募集・推薦要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ④ その他奨学生として相応しくないと判断された場合。
- (3) 寄付者からの寄付が滞った場合、事前通知のうえ、本奨学金の支給を休止又は終了する。
- (4) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、本奨学金の支給決定を取り消す。

14 その他(注意事項等)

- (1) 奨学生は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、本奨学金寄付者への入社その他の付帯義務を負うものではない。
- (2) 本奨学金採用決定(本奨学金採用決定通知を大学が受領した時点)前に他の奨学金の受給が決定した場合、大学を通じて本協会に速やかにその旨報告すること。また、本奨学金奨学生として採用された場合、他の奨学金を受給することを目的として、本奨学金を辞退することはできない。
- (3) 受給開始から終了まで、他の給付型奨学金に応募することはできない。(ただし、本奨学金の受給終了後に支給を開始する他の奨学金は除く。)
- (4) 所属大学の留学制度等を利用して海外に留学する場合、長期欠席または休学の扱いとならなければ、支給を継続する。
- (5) 過去、本奨学金を受給した者は再度応募することはできない。
- (6) 本協会の奨学金事業における標準修業年限は、原則学士課程4年、修士(博士前期)課程2年、博士後期課程3年とし、この期間のうち6に挙げる支給期間を支給対象とする。長期履修学生についても、これに相当する期間を支給対象とする。ただし、医学部等この期間を超えて在学が必要な学部・研究科においては、大学の定める標準修業年限のうち6に挙げる支給期間を支給対象とする。

15 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の管理

本協会は、本奨学金に関連して取得した願書・報告書等に記載される全ての個人情報を本協会の個人情報保護方針に基づき、細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、15(2)①から③及び⑤の目的で寄付者に開示・提供する場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。

(2) 個人情報の利用目的

本協会は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。

- ① 本奨学金の奨学生を決定するため。
- ② 本奨学金支給事務のため。
- ③ 本奨学金懇親会・インターンシップ・イベント・アンケート等を実施するため。
- ④ 本協会実施の国際教育支援プログラムの案内や参加の際の連絡手段として利用するため。
- ⑤ 報告書、お礼状、近況報告等を事前に奨学生本人からの承諾を受けた上で、本協会及び奨学金寄付者のホームページ等において広報目的に利用するため。

16 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人日本国際教育支援協会 学生支援部 国際教育課
〒105-0003東京都港区西新橋1-13-1 DLXビルディング12階
TEL:03-5454-5274
E-mail: ix-app@jees.or.jp(応募・推薦書類提出用)
E-mail: ix@jees.or.jp(問い合わせ用)

以上

令和4年度JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金 願書

令和 4年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

私は、本奨学金の募集・推薦要項の全記載内容に同意・了承の上、令和4年度JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金の奨学生として採用願いたく、願書の記載事項に相違ありませんので、ここに申請いたします。また、募集・推薦要項15(2)①から③及び⑤の目的で、願書の記載事項を寄付者に開示・提供することに同意します。なお、奨学生として採用された場合は、他の奨学金を受給することを目的として、本奨学金を辞退することはいたしません。

記

氏 名			写真 データを貼り付けること。 (50KB以下)
フリガナ (半角)			
漢字			
ローマ字 (大文字)			
学籍状況(令和4年4月1日時点)			
学校名	研究科	専攻	
★選択してください	年 () 年 () 月入学、	年 () 月修了予定)	
国籍			
生年月日		性別	
年 () 月 () 日 (令和4年4月1日時点で	歳)		

●応募者の経済状況(令和4年度見込み)

収入内訳(すべて平均月額を記入すること)		支出内訳(すべて平均月額を記入すること)	
① 仕送り額	円	⑧ 学費	円
② 生計を一にする同居者の収入	円	⑨ 教材費	円
③ アルバイト収入、RA・TAの給与等	円	⑩ 住居費	円
④ 特別研究員 研究奨励金	円	⑪ 生活費	円
⑤ 高等教育の修学支援新制度給付型奨学金	円	⑫ その他	円
⑥ その他 ()	円	小計	0 円
⑦ その他 ()	円	⑬ 授業料免除額	円
合計	0 円	合計 ※小計-授業料免除額	0 円
収入-支出	0 円		

●他の奨学金受給・申請状況 ※一時金も含む。令和4年度に受給(予定を含む)する奨学金のみ記入すること。

貸与型 給付型	奨学金名	支給団体名	月額	受給期間			状況
				年	月	から	
			円	年	月	から	
			円	年	月	まで	
			円	年	月	から	
			円	年	月	まで	
			円	年	月	から	
			円	年	月	まで	

●学歴・職歴(高等学校卒業以降)

学歴 職歴	学校名または勤務先(所在地)	専攻分野・職務内容・地位	在学・勤務期間
学歴	(高等学校名)		年 月 まで
			年 月 から
			年 月 まで
			年 月 から
			年 月 まで
			年 月 から
			年 月 まで
			年 月 から
			年 月 まで

●JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金に応募する理由

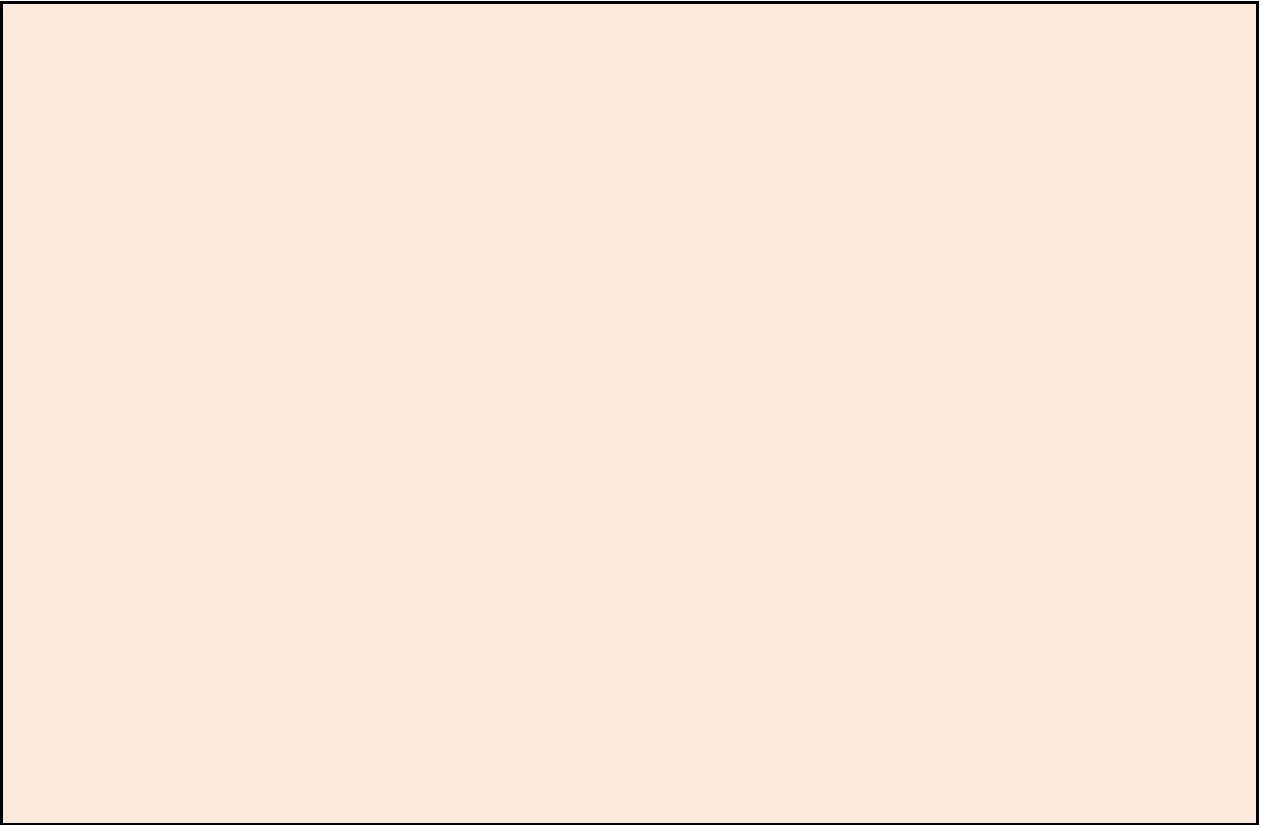
●学習・研究計画

概要・ テーマ	
具体的な内容	

●学業修了後、どのような進路を希望するか。また、将来どのような職業・仕事に就きたいと思うか。

--

●出光興産株式会社の事業について、あなたがどう理解し、どう考えているか自由に述べよ。



以上

【記入上の注意】

- ・添付する写真は、上半身、脱帽、最近6か月以内に撮影したものとし、50KB以下のものを貼り付けること。
大ききの調整をして枠内に収めること(写真の縦横比は変更しないこと)。
- ・申請者本人が入力すること(手書き不可)。
- ・スペースが足りない場合は、行の追加・高さの調整をしてセル内に収めること(別紙を添付しないでください)。

令和4年度JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金 願書

令和 4年 4月 5日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

私は、本奨学金の募集・推薦要項の全記載内容に同意・了承の上、令和4年度JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金の奨学生として採用願いたく、願書の記載事項に相違ありませんので、ここに申請いたします。また、募集・推薦要項15(2)①から③及び⑤の目的で、願書の記載事項を寄付者に開示・提供することに同意します。なお、奨学生として採用された場合は、他の奨学金を受給することを目的として、本奨学金を辞退することはいたしません。

記

氏名			写真 データを貼り付けること。 (50KB以下)
フリガナ (半角)	キョウカイ タロウ		
漢字	協会 太郎		
ローマ字 (大文字)	KYOUKAI TARO		
学籍状況(令和4年4月1日時点)			
学校名	研究科	専攻	
日本国際教育大学	工学研究科	応用専攻	
博士(博士後期)課程	1年(2022年4月入学、2025年3月修了予定)		
国籍	日本		
生年月日			性別
1997年8月1日(令和4年4月1日時点で24歳)			男

●応募者の経済状況(令和4年度見込み)

収入内訳(すべて平均月額を記入すること)		支出内訳(すべて平均月額を記入すること)	
① 仕送り額	130,000 円	① 学費	30,000 円
② 生計を一にする同居者の収入	0 円	② 教材費	20,000 円
③ アルバイト収入、RA・TAの給与等	50,000 円	③ 住居費	80,000 円
④ 特別研究員 研究奨励金	0 円	④ 生活費	60,000 円
⑤ 高等教育の修学支援新制度給付型奨学金	0 円	⑤ その他	0 円
⑥ 併給奨学金(申請中を除く)	120,000 円	小計	190,000 円
⑦ その他(借入金、貯金の取崩し等)	円	⑬ 授業料免除額	円
合計	300,000 円	合計 ※小計-授業料免除額	190,000 円
収入-支出	110000 円		

●他の奨学金受給・申請状況 ※一時金も含む。令和4年度に受給(予定を含む)する奨学金のみ記入すること。

貸与型 給付型	奨学金名	支給団体名	月額	受給期間	状況
貸与型	奨学金名1	支給団体名1	100,000 円	2022年4月から 2025年3月まで	受給決定済
給付型	奨学金名2	支給団体名2	20,000 円	2022年4月から 2023年3月まで	申請中
			円	年 月 から 年 月 まで	
			円	年 月 から 年 月 まで	

●学歴・職歴(高等学校卒業以降)

学歴 職歴	学校名または勤務先 (所在地)	専攻分野・職務内容・地位	在学・勤務期間
学歴	(高等学校名) 日本国際教育高等学校 (東京都)	普通科	2016年3月まで
学歴	日本国際教育大学 (東京都)	工学部	2016年4月から 2020年3月まで
学歴	日本国際教育大学 (東京都)	工学研究科	2020年4月から 2022年3月まで
			年 月 から 年 月 まで
			年 月 から 年 月 まで

●JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金に応募する理由

あいうえお

●学習・研究計画

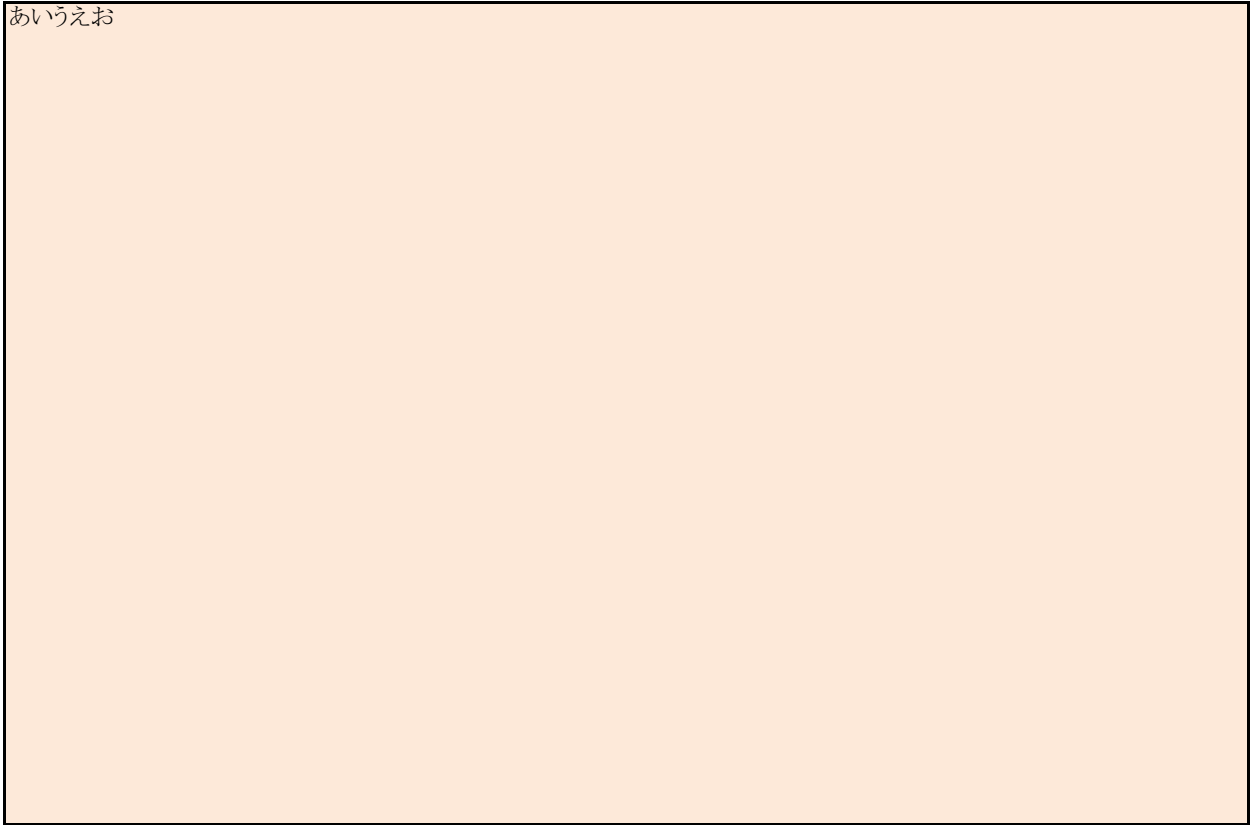
概要・ テーマ	●●における●●の構造と●●の関係
具体的な内容 あいうえお	

●学業修了後、どのような進路を希望するか。また、将来どのような職業・仕事に就きたいと思うか。

あいうえお

●出光興産株式会社の事業について、あなたがどう理解し、どう考えているか自由に述べよ。

あいうえお



以上

【記入上の注意】

- ・添付する写真は、上半身、脱帽、最近6か月以内に撮影したものとし、50KB以下のものを貼り付けること。
大きさの調整をして枠内に収めること(写真の縦横比は変更しないこと)。
- ・申請者本人が入力すること(手書き不可)。
- ・スペースが足りない場合は、行の追加・高さの調整をしてセル内に収めること(別紙を添付しないでください)。

令和4年度JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金 推薦理由書

令和 4年 月 日

下記の者を、令和4年度JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金に推薦します。推薦理由は、以下の通りです。

● 推薦する学生

氏 名		
フリガナ		
漢字		
学籍状況(令和4年4月1日時点)		
学校名	研究科	専攻

● 推薦理由

--

推薦者

所属先 (研究科/専攻)	職名	氏名

以上

家族状況等調書(学内選考資料)

申請奨学金名 _____

学生番号 _____

氏名 _____ 所属(学部等) _____ 年 _____

生年月日・年齢・性別 _____ 年 _____ 月 _____ 日生(_____ 歳)(男・女)

携帯 _____ 連絡希望メールアドレス _____

本人住所 _____

1. 本人を除く家族及びその職業等

あなたと生計を一にする者全員を記入してください。なお、* 欄に該当する場合は、もれなく記入してください。

■ 就学者を除く家族

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	職業	勤務先名等	本人と同居・別居	大学(学務部)記入欄		
						給与収入	所得金額	控除
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			

* 父・母死亡・生別の場合: その年月(_____ 年 _____ 月)

* 主たる家計支持者が無職(失職)の場合: その年月(_____ 年 _____ 月) 就労見込(有・無)

■ 本人を除く就学者

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	大学(学務部)記入欄
			立		自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	

2. 本人の奨学金受給・申請状況

あなたの現在受給されている奨学金及び現在申請中・申請予定の奨学金についてもれなく記入してください。

単位: 万円

奨学金名	貸与・給与	月額	受給・申請状況	大学(学務部)記入欄
	貸与・給与		受給中・申請中・申請予定	
	貸与・給与		受給中・申請中・申請予定	
	貸与・給与		受給中・申請中・申請予定	

単位: 万円

大学(学務部)記入欄			
(1) 父子・母子世帯		総所得金額	
(2) 就学者		特別控除金額	
(3) 障害者・長期療養者		認定総所得金額	
(4) 家計支持者別居		収入基準額(_____ 人)	
(5) 災害		困窮度	
(6) 本人控除			
特別控除計			

家族状況等調書(学内選考資料)

申請奨学金名 **北大奨学会**

学生番号 **01234567**

氏名 **北大 太郎**

所属(学部等) **文学部**

2 年

生年月日・年齢・性別

2001 年 **1** 月 **1** 日生(**20** 歳)(**男** ・ 女)

携帯 **090-0000-0000**

連絡希望メールアドレス **syogaku@academic.hokudai.ac.jp**

本人住所 **札幌市北区北17条西8丁目**

1. 本人を除く家族及びその職業等

あなたと生計を一にする者全員を記入してください。なお、* 欄に該当する場合は、もれなく記入してください。

■ 就学者を除く家族

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	職業	勤務先名等	本人と同居・別居	大学(学務部)記入欄		
						給与収入	所得金額	控除
父	北大 一郎	55	会社員	××株式会社	同居・別居			
母	北大 花子	52	パート	〇〇スーパー	同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			

* 父・母死亡・生別の場合: その年月(年 月)

* 主たる家計支持者が無職(失職)の場合: その年月(年 月) 就労見込(有・無)

■ 本人を除く就学者

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	大学(学務部)記入欄
弟	北大 二郎	20	私立 北海大学	1	自宅・自宅外	
妹	北大 花江	17	公立 札幌高校	2	自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	

2. 本人の奨学金受給・申請状況

あなたの現在受給されている奨学金及び現在申請中・申請予定の奨学金についてもれなく記入してください。

単位: 万円

奨学金名	貸与・給与	月額	受給・申請状況	大学(学務部)記入欄
日本学生支援機構第二種	貸与・給与	50,000	受給中・申請中・申請予定	
△△育英会	貸与・給与	20,000	受給中・申請中・申請予定	
◎◎奨学会	貸与・給与	30,000	受給中・申請中・申請予定	

大学(学務部)記入欄			
(1) 父子・母子世帯		総所得金額	
(2) 就学者		特別控除金額	
(3) 障害者・長期療養者		認定総所得金額	
(4) 家計支持者別居		収入基準額(人)	
(5) 災害		困窮度	
(6) 本人控除			
特別控除計			

家族状況等調書(学内選考資料)

申請奨学金名 **北大奨学会**

学生番号 **01234567**

氏名 **北大 太郎**

所属(学部等) **文学部**

2 年

生年月日・年齢・性別 **1993年 1月 1日生(28歳)(男・女)**

携帯 **090-0000-0000**

連絡希望メールアドレス **syogaku@academic.hokudai.ac.jp**

本人住所 **札幌市北区北17条西8丁目**

1. 本人を除く家族及びその職業等

あなたと生計を一にする者全員を記入してください。なお、*欄に該当する場合は、もれなく記入してください。

■就学者を除く家族

単位:万円

続柄	氏名	年齢	職業	勤務先名等	本人と同居・別居	大学(学務部)記入欄		
						給与収入	所得金額	控除
本人	北大 太郎	28			同居・別居			
妻	北大 花子		正社員	〇〇株式会社	同居・別居	※配偶者がいない場合には記載しない		
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			

* 父・母死亡・生別の場合:その年月(年 月)

* 主たる家計支持者が無職(失職)の場合:その年月(年 月) 就労見込(有・無)

■本人を除く就学者

単位:万円

続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	大学(学務部)記入欄
長男	北大 次郎	7	市立 〇〇小学校	小学1年生	自宅・自宅外	※就学者がいない場合は記載しない
			立		自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	

2. 本人の奨学金受給・申請状況

あなたの現在受給されている奨学金及び現在申請中・申請予定の奨学金についてもれなく記入してください。

単位:万円

奨学金名	貸与・給与	月額	受給・申請状況	大学(学務部)記入欄
日本学生支援機構第二種	貸与・給与	50,000	受給中・申請中・申請予定	
△△育英会	貸与・給与	20,000	受給中・申請中・申請予定	
◎◎奨学会	貸与・給与	30,000	受給中・申請中・申請予定	

大学(学務部)記入欄			
(1) 父子・母子世帯		総所得金額	
(2) 就学者		特別控除金額	
(3) 障害者・長期療養者		認定総所得金額	
(4) 家計支持者別居		収入基準額(人)	
(5) 災害		困窮度	
(6) 本人控除			
特別控除計			

※日本人の独立生計者の場合は提出して下さい※

同意書

下記の質問項目に✓(チェック)を付けて下さい。

- 学生本人(及び配偶者)の親権者(父母等)と別居しています。
- 親権者等の「控除対象扶養親族」に学生本人の記載はありません。
- 親権者からの生活費等の仕送りはありません。
- 学生本人の収入もしくは配偶者の収入もしくはその両方の収入(子供を含む)により生計をたてています。
例)国民健康保険また社会保険に加入し、学生本人の収入もしくは配偶者の収入で保険料を支払っている。

4月以降に独立生計者になる場合は理由詳しくを記載して下さい。

<理由>

私は、この情報に間違いはございません。

※ 全てに✓(チェック)がつかない場合は独立生計者として認めることが出来ません。

※ 4月以降に独立生計者となる場合は、例外とします。

申請奨学金名

所属(学部等)

学生番号

氏名

同意書の項目に全部✓(チェック)がついたまたは理由を記載した方は

学内選考用資料については

- ・ 家族状況報告書
→独立生計者の記入例を参考にして記載して下さい。
- ・ 所得に関する証明書
→学生本人または配偶者の収入が分かる源泉徴収票もしくは確定申告書

2点を提出して下さい

- ※ 財団からの願書等で家族状況を記載する場合がございますが、「家族の状況(同一生計の家族)」となっている場合は、同一生計ではない親族の記載はしないで下さい。
- ※ 配偶者がいる場合は、「家族の状況(同一生計の家族)」に配偶者の情報を記載して下さい。(子供がいる場合も配偶者と同じように記載して下さい)